

2011 賀川記念館 since 1909

KAGAWA MEMORIAL HALL

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらよいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？



現代社会とキリスト教

地域とつながる

暮らしと火水木風土

賀川と差別



無縁社会のなかで孤立する人々、失業、貧困に喘ぐ人々、自殺者年間3万人。そのような深刻な社会問題に直面するただ中に、更に追い打ちをかけるあの震災。揺れる国土、迷走する政治、停滞する経済、そして混迷する福祉。ところで、2000年前に、生きる意味を喪失して絶望の内に座していた男に、「ナザレのイエスによって歩きなさい」と呼びかけたペテロの不思議な言葉に、現代が失っている真の希望と福祉の源泉を探してみたい。その根源的な問いから、現代の日本の混迷する社会に対してキリスト教の福音の意味を今改めて問い直してみたい。

現代社会とキリスト教

講師 木原 活信 同志社大学社会学部教授

1/14

2012年 1月 14日(土) 14:00 ~ 16:00

会場：賀川記念館 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

参加費：500円 (参加お申し込みは賀川記念館事務局まで)

木原 活信 きはらかつのぶ

同志社大学社会学部教授 福岡県出身、炭鉱の町筑豊で高校生まで育つ。以来、京都→広島→東京→カナダと転々とし、現在は京都市の桂坂在住。NTT 東海カウンセラー、広島女子大学、東京都立大学助教授、トロント大学大学院客員研究員を経て、現在、同志社大学社会学部教授。社会福祉学博士。社会福祉法人京都基督教福祉会理事、日本キリスト教社会福祉学会副会長。専門領域は、福祉思想・哲学、ソーシャルワーク論。実践フィールドとして死生臨床(自殺予防)、精神保健福祉領域。著者に、『対人援助の福祉エートス』(ミネルヴァ書房 2003)、『J. アダムズの社会福祉実践思想の研究』(川島書店 1998) (第5回福武直賞受賞)。趣味は、亀、クラシックギター、カーブ。京都・西京極キリスト教会信徒。